**SPC / FFA 地域はえ縄船拡大様式ログシート指示書**

ログシートは各航海につき記入すること。航海の開始とは、漁船が漁場に移動するために出港した時点、または漁獲物の陸揚げを終了するために他の港に移動した時点を指す。航海の終了とは、漁獲物の一部またはすべてを陸揚げするために漁船が入港した時点、または許可された転載を行った時点を指す。

**第1部：漁船の識別及び航海の情報**

*登録国*及び*登録国における登録番号*：漁船の登録国（例：日本）、ならびに登録国における登録番号（例：ME1-808）を記入すること。

*FFA 漁船登録番号*： FFA地域登録に掲載するため、フォーラム漁業機関が発行した番号（例：12345）を記入すること。*船舶の固有識別番号 (UVI)：*船舶の固有識別番号を記入すること。 *操業許可・免許番号（複数可）*：漁船が単一もしくは複数の二国間漁業協定の下で操業した場合には、航海中に操業した各水域の沿岸国が発行した操業許可番号を記入すること。漁船が多国間条約の下で操業した場合は、多国間条約により発行された操業許可番号を記入すること。漁船が沿岸国に登録されている場合は、沿岸国が発行した操業免許番号を記入すること。

*陸揚げ港の代理店名、または洋上転載の場合は運搬船名及び仕向地*：ログシートに記録した漁獲物を陸揚げした港（複数可）において漁船を代表した代理店名（複数可）を記入すること。洋上転載を行った場合には、転載した運搬船の名と漁獲物の仕向先を記入すること。

*年及び本年の航海回数*：航海開始時の年ならびに本年の航海回数（当該航海を含む）を記入すること。航海の開始とは、漁獲物の一部またはすべてを港で陸揚げした後、または洋上で転載した後、漁船が漁場に移動した時点を指す。航海の終了とは、漁船が漁獲物の一部またはすべてを港で陸揚げした時点または洋上で転載した時点を指す。

*陸揚げ／転載地*：漁獲物を陸揚げした港の名、または洋上転載を行った場合にはそのGPS位置を記入すること。

*出発日時* 及び*陸揚げ／転載日時*：漁獲物の港への陸揚げを開始した日時、または洋上転載を開始した日時を記入すること。UTC時間を年月日、時分の順（YYYY-MM-DD-hh:mm）で記入すること。

*主な対象魚種*：当該航海の主な対象魚種を記入すること。

**第2部：漁具の詳細及び漁獲**

ログシートの第2部に、航海中の各セットについて少なくとも1日１回の記入をすること。漁具を設置しなかった日は、月、日、活動コード、UTC01:00時の漁船の位置を記入すること。必要に応じて、他の種の漁獲・捕獲について1行以上使用して記載すること。

*月*及び*日*：日は、乗組員が漁具の設置を開始した日。曜日ではなく、日付を記入すること。

*活動コード*：第2部に記入した漁具が水中に設置したはえ縄漁具である場合は、活動コード「1」（「漁具の設置」）と記入すること。洋上にいたが、漁具を水中に設置せず、かつ移動中では**なかった**日は活動コード「2」（「洋上滞留、操業なし、移動なし‐詳細を記入」）と記入し、同じ行に当該日の活動内容を記載すること。漁具を設置せず、1日の大半を移動に費やした場合は活動コード「3」（「移動」）と記入すること。漁具を設置せず、ほぼ1日港に停泊していた場合は活動コード「4」（「寄港‐詳細を記入」）と記入すること。漁獲物を洋上で転載した場合は活動コード「5」（転載）と記入すること。該当するコードがない場合は活動内容を記載すること。

*設置開始またはUTC 01:00時の位置*：漁具を設置した場合には、設置開始位置を記入すること。漁具を設置しなかった日は、UTC 01:00時の漁船の位置を記入すること。緯度、経度は分単位まで記録すること（例： 08–22 N 、165–45 E）。

*設置開始時間*：乗組員がはえ縄漁具を水中に設置し始めた時間をUTC時で記入すること。

*釣鉤数*：設置した総釣鉤数を記入すること。

*浮子間の釣鉤数*： 2浮子間の平均釣鉤数を記入すること。

*漁獲物*：**マグロ**については、漁獲・船上維持した尾数を*維持尾数*の欄に記入すること。漁獲、船上維持したすべてについて、ビンナガは原魚総重量を、メバチとキハダはえらはら抜き重量を、キロ単位で*維持重量*の欄に記入すること。投棄または放流／処分（生きたまま、または死亡）したものは、航海中に消費したものも含め、*投棄尾数*の欄に尾数を記入すること。用紙下部の*他の種*の欄に、小型魚（商業市場に不向きな9キロ / 20ポンド未満の小型マグロ）を記録すること。**カジキ**については、漁獲・船上維持した尾数を*維持尾数*の欄に記入すること。漁獲・船上維持したすべてについて、製品重量をキロ単位で*維持重量*の欄に記入すること。投棄または放流／処分（生きたまま、または死亡）したものは、航海中に消費したものも含め、*投棄尾数*の欄に尾数を記入すること。**サメ**については、*維持尾数*の欄に、漁獲・船上維持した尾数を記入するが、胴体を投棄しヒレのみを維持したものは**除く**こと。*投棄尾数*の欄に、胴体を投棄しヒレのみを維持したものも**含め、**投棄または放流／処分（生きたまま、または死亡）した尾数を記入すること。**他の種**については、左の欄に種の正式名を記入すること。*維持尾数*の欄に、漁獲・船上維持した尾数を記入すること。*維持重量*の欄に、漁獲・船上維持したすべての魚の製品重量をキロ単位で記入すること。投棄または放流／処分（生きたまま、または死亡）したものは、航海中に消費したものも含め、*投棄尾数*の欄に尾数を記入すること。他の種が3種以上ある場合には、ログシートの未使用の行を使用し、欄内の種名に取り消し線を入れ、該当する他の種名を記入すること。

*他の漁船の確認*：他の漁船を確認した場合には、船名ならびに漁船種類などの識別事項を、ログシートの日次記録部分に記入すること。

*クジラの捕食*：クジラにより捕食された魚があった場合には、ログシートの日次記録部分を使用して尾数を記入すること。

**活動コード**

1 漁具の設置

2 洋上滞留、操業なし、移動なし‐詳細を記入

3 移動

4 寄港‐詳細を記入

5 転載